

	質問	回答
履修方法	Q 1 <b>学部生は「SXIP国際協働演習」を、大学院生は「SXIP国際協働実践演習」を履修することとありますか、どうすればよいでしょうか。</b>	<p>SXIP事務室が履修登録手続きをしますので、ご自身で履修登録手続きをする必要はありません。</p> <p>なお、本科目については、履修登録単位数の上限に含まれない科目として該当の学部・学府へ配慮依頼をしています。</p>
パスポート	Q 1 <b>パスポートをまだ取得していないのですが、応募できませんか？</b>	<p>採用決定後、速やかにパスポートを取得見込みであれば、ご応募いただけます。</p> <p>応募時に提出できない場合は、授業支援システムのコメント欄に、取得予定期を記載してください。合格通知後には速やかに取得し、授業支援システムよりご提出ください。</p>
成績証明書	Q 1 <b>学部1年ですが、成績証明書はどうすればよいでしょうか。</b>	<p>大学の成績証明書が提出できない学部1年生の場合は、以下のいずれかのご提出をお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高等学校の最終学期の成績表の写し</li> <li>○高等学校卒業時の調査書</li> <li>○高等学校の成績証明書</li> </ul> <p>応募締切日までの提出が間に合わない場合、また、紙媒体のまま提出したい場合、授業支援システムのコメント欄に、提出予定期と提出方法を記載してください。</p>
	Q 2 <b>修士1年ですが、成績証明書はどうすればよいでしょうか。他の大学を卒業の場合はどうすればよいでしょうか。</b>	<p>学部最終年次の成績がわかる証明書をお願いいたします。本学以外の学部を卒業された方は、卒業された大学より学部最終年次の成績証明書を取得してください。</p> <p>証明書の種類と申請（在学生）  <a href="https://www.ynu.ac.jp/campus/procedure/apply.html">https://www.ynu.ac.jp/campus/procedure/apply.html</a></p>
	Q 3 <b>成績証明書として、学務情報システム上の成績集計をスクショして提出しても大丈夫でしょうか。</b>	<p>いいえ。成績証明書を提出してください。</p> <p>成績証明書は、学生センター1階の証明書自動発行機から発行できます。</p> <p>証明書の種類と申請（在学生）  <a href="https://www.ynu.ac.jp/campus/procedure/apply.html">https://www.ynu.ac.jp/campus/procedure/apply.html</a></p>
募集資格	Q 1 <b>応募資格に「留学生は除く」とありますか、すべての外国籍の学生を除きますか。</b>	このプログラムについては、文部科学省から、「留学」査証で滞在する外国籍の学生は対象としないことを決められています。なお、外国籍の学生でも、「家族滞在」「日本人配偶者等」「永住者」「定住者」「特別永住者」を対象とすることは可能となっています。
語学スコア	Q 1 <b>英語統一テストのスコアが、応募資格の「原則として、TOEIC600点以上（IELTS5.0以上）と同等の語学力」であるか知りたい。</b>	全学教育科目履修案内に掲載されているスコア換算表をご参照ください。
	Q 2 <b>募集要項「8.参加の条件」に記載の語学スコア（TOEIC、IELTS、TOEFL iBT、TOEFL ITP、英検）以外の語学テストでも応募できますか？</b>	それ以外の試験の種類につきましては、SXIP事務局(yokohama-sxip@ynu.ac.jp)にご相談ください。

	<b>Q 3</b> <b>出願時に提出する語学スコアの有効期限はありますか？</b>	今年度の募集につきましては、語学スコアの有効期限を設けておりません。
	<b>Q 4</b> <b>帰国後にはTOEICを受験するつもりだが、TOEICとそれより高いスコアのIELTSも持っている。どちらを提出すればよいですか？</b>	選考の参考にしますので、応募時には複数の語学テストの結果を提出いただいて結構です。
派遣	<b>Q 1</b> <b>現在交換留学中で6月中旬ごろ帰国予定なのですが、応募可能でしょうか？選考面接等に対面で参加できないと思われます。</b>	はい。ご応募いただけます。 オンラインでの面接の実施も可能といたします。別途、SXIP事務局(yokohama-sxip@ynu.ac.jp)にご連絡をお願いいたします。
	<b>Q 2</b> <b>海外に滞在する期間はある程度自分で調整可能なのでしょうか？</b>	現地滞在8日間を基本とする大学毎に決められた日程での派遣であり、派遣学生が自由に渡航期間等を調整することはできません。
夏休み中の活動期間	<b>Q 1</b> <b>夏休みの間（8-9月）は、派遣期間以外に、どのくらい活動するのでしょうか。</b>	1) 8月25日～9月4日（予定）の間に、海外からの受入学生との国際協働学修が実施されます。現在、日程調整中ですが、概論講義、グループワーク、シンポジウムでの発表、インダストリアルツアへの参加、横浜ツアの学生企画等、参加が必須なプログラムがあります。また、受入学生への来日初日のサポートやフリータイムの過ごし方の相談等、参加必須のプログラム以外にも受入学生と帯同する機会があります。 ※8月25日～9月4日の間に、参加できない期間が含まれる場合は、応募申請書の「その他」欄に必ず参加できない日及び理由を記入してください。 2) 8月25日の受入前に、オンライン上で、派遣先大学の学生と交流機会を持つことが想定されます。 3) 8月25日の受入前に、SXIP英語演習の実施予定があります。こちらは参加必須ではありませんが、英語力向上のため、ぜひご活用ください。
	<b>Q 2</b> <b>協定校からの学生受入期間と、自分が所属する研究科の中間発表会が被っています。プログラムへの参加は可能でしょうか？</b>	中間発表や学会、インターンシップなどの予定を応募用フォーム「その他」に記入いただければ、応募は可能です。参加の可否は、応募書類、面接等により総合的に判断されます。